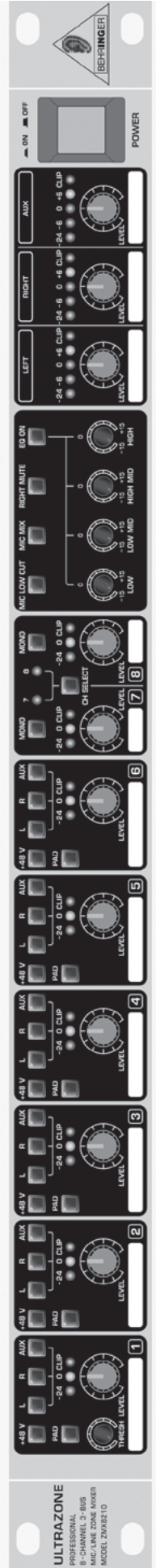


ULTRAZONE

ZMX8210



www.behringer.com

取扱説明書

A50-17432-00002

ja



安全にお使いいただくために



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

注意

- ☞ 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れないでください。故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。
- ☞ 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。
- ☞ これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。修理は、資格のあるサービス技術者のみが行うようにして下さい。

- 1) 取扱説明書を通してご覧ください。
- 2) 取扱説明書を大切に保管してください。
- 3) 警告に従ってください。
- 4) 指示に従ってください。
- 5) 本機を水の近くで使用しないでください。
- 6) お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
- 7) 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
- 8) 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
- 9) 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
- 10) 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
- 11) すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。
- 12) 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに手に届く場所に設置して下さい。
- 13) 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
- 14) ート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用する際の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。



- 15) 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 16) 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



目次

1. はじめに 3

 1.1 ご使用の前に 3

 1.1.1 出荷 3

 1.1.2 スタートアップ 3

 1.1.3 オンライン登録 4

2. コントロールパネルと接続端子類 4

 2.1 フロントパネル 4

 2.2 リアパネル 5

3. 使用例 5

 3.1 使用例 5

 3.1.1 最大 3 つのゾーン(エリア)における P.A 5

 3.1.2 複数の ZMX8210 を接続して使用する場合 6

 3.1.3 ZMX8210 の遠隔操作 6

 3.2 基本的な操作方法 7

4. 設置 7

 4.1 ラックへの組み込み 7

 4.2 オーディオ接続 7

5. テクニカルデータ 8

1. はじめに

ULTRAZONE ZMX8210 のお買い上げ、誠にありがとうございます。ZMX8210 は、固定セットアップ、もしくは最高 3 つのルームゾーンでの PA に最適なプロ仕様のラックミキサーです。8 つの入力チャンネルでラインおよびマイク信号を処理することが出来ます。ZMX8210 をもう一台接続すれば、さらに多くの入力チャンネルを使用することが出来ます。すべてのチャンネルには、シグナルインテグリティを最大限に維持する高品位なプリアンプが備えられています。入力信号は 3 つの出力バスにルートすることができ、内蔵された 4 つのイコライザーで効果的に信号処理を行うことが出来ます。ZMX8210 に備えられた機能のいくつかは、スイッチの切り替え一つで簡単にリモートコントロールが行えます。非常に直感的なコントロールパネルとなっているため、従来のミキサーとは異なり、ミキサー経験のない人にも短時間ですぐに使い勝手を理解していただくことができます。

ZMX8210 一台あれば、複数の PA 環境を容易かつ迅速にコントロールすることが可能となります。

まったく新しい PA パフォーマンスをお楽しみください。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

ZMX8210 は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包しておりますが、万が一包装ダンボールが破損している場合は、機器の外面に破損がないことをご確認ください。

- ☞ 万が一機器に破損がある場合は、保証請求権が無効となることを防ぐために、製品を当社へ直接返送せずに、必ず販売代理店および運送会社までご連絡ください。
- ☞ 機器を保管したり輸送する場合は、破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包を使用してください。
- ☞ 機器や包装箱は子供の手の届かない場所に保管してください。
- ☞ 梱包材は環境保護に適した方法で廃棄してください。

1.1.2 スタートアップ

十分な換気を確保し、過熱を防ぐために ZMX8210 は暖房などのそばに設置しないでください。

- ☞ 安全装置が故障している場合は、正しい値の安全装置と交換して下さい。正しい設定値は「テクニカル・データ」の項目に記載されています。ヒューズを交換する際は、必ず装置の電源ケーブルを抜いてから行ってください！

電源接続は、必ず製品に付属の標準 IEC 電源ケーブルで行ってください。これはすべての安全基準を満たしています。

- ☞ すべての機器が正しく接地されていることを確認します。安全のために、機器や電源回路ケーブルからアース線を取り外したり使用不能にすることは絶対にしないでください。装置は必ずアースの施された電源ケーブルに接続してください。
- ☞ 機器のインストールとサービスは、必ず専門家だけが行うように注意してください。インストールの間そしてその後も操作する人は、常にアースするように注意してください。もしそうでない場合は、静電気の漏洩によりシステムの特徴が損なわれる可能性があります。
- ☞ 電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。



1.1.3 オンライン登録

BEHRINGER 製品をお買い上げいただいた後は、出来るだけ早急にインターネットの www.behringer.com 上にて製品登録をし、保証条件をお読みください。

お手持ちの BEHRINGER 製品が故障した場合は、すぐに修理が行えるよう、製品を購入した BEHRINGER 代理店に直接ご相談ください。お近くに BEHRINGER 代理店がない場合は、直接弊社までご連絡ください。各国における BEHRINGER 社の連絡先(グローバルコンタクトインフォメーション/ヨーロッパコンタクトインフォメーション)は、製品の梱包に含まれています。お客様のお住まいの国がこの連絡先に含まれていない場合は、最寄のディストリビューターまでご連絡ください。当社のホームページ www.behringer.com のサポートコーナーで、各ディストリビューターの連絡先がご覧いただけます。

お買い上げいただいた製品とご購入日が当社に登録されていると、保証対応を迅速に行うことが出来ますので、

ご協力ください。

2. コントロールパネルと接続端子類

2.1 フロントパネル

チャンネル 1-6 および 7-8 における各コントローラーの機能はすべて同一となっています。LEFT, RIGHT, AUX バスの機能もそれぞれ同一です。例として、チャンネル 1、チャンネル 7 および LEFT バスの機能をそれぞれ説明していきます。

スイッチの機能は、特に表記がない限りは、

▲ 押した状態が「オン」の状態となります。

▲ スイッチが押されていない時は、「オフ」となります。

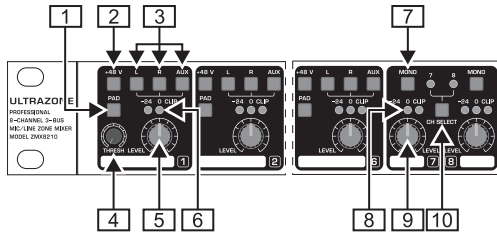


図 2.1: ZMX8210 のコントローラー類

チャンネル 1-6

- 1 PAD : このスイッチで、音量の大きな音声信号の入力レベルを 20 dB カットすることができます。
- 2 +48 V : このスイッチで、コンデンサーマイク用のファンタム電源をオンにします。
- 3 L, R, AUX : これら 3 つのスイッチを使って、チャンネル信号を一つ、もしくは複数の出力バスに分配(ルート)します。
- 4 THRESH (チャンネル 1 のみ) : このコントローラーでスレシールドレベルを調節します。入力信号のレベルが、設定した値に達すると、チャンネルはミュートされます。コントローラーを左に廻しきるとチャンネルに影響はありませんが、右に廻しきると、チャンネルは常にミュートされた常態となります。
- 5 LEVEL : このコントローラーで、選択したバスへルートしたい入力信号のプリアンプレベルを設定することができます。
- 6 LED : これらの LED に入力信号のレベルが表示されます。CLIP LED が点灯する場合は、LEVEL コントローラー 5 を使って、信号がクリップしなくなるまで入力信号レベルを下げてください。それでもレベルカットが十分行えない場合は、PAD スイッチ 1 を押してさらにレベルを下げてください。

チャンネル 7-8

- 7 MONO : このスイッチで、ステレオチャンネルの構成を選択します。
 - ▲ モノモードの場合は(スイッチを押した状態)、チャンネルの L/R 入力端子がミックスされ、信号は LEFT, RIGHT および AUX バスに送られます。これによってモノラル信号は同時にすべての出力バスにルートされることとなります。

▲ ステレオモード(スイッチを押さない状態)の場合は、L 入力の信号は LEFT バスへ、R 入力の信号は RIGHT バスへとそれぞれ流れ、ミックスされた L/R 信号が AUX バスへと送り込まれます。

- 8 LED : コントローラー 6 と同様の機能です。ステレオモードの場合、LED には入力信号 L および R のサム信号レベルが表示されます。
- 9 LEVEL : コントローラー 5 と同様の機能です。このコントローラーは、ステレオモードで L/R 信号の音量を調節する際に使用します。
- 10 CH SELECT : このスイッチでチャンネル 7 またはチャンネル 8 をそれぞれ切り替えます。使用しているチャンネルの LED が点灯します。

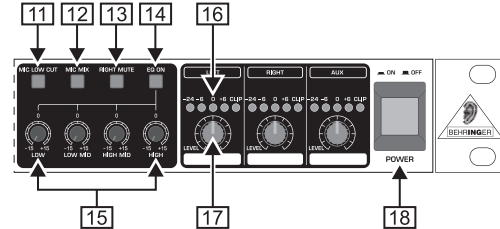


図 2.2: ZMX8210 のコントローラー類

中心部

- 11 MIC LOW CUT : このスイッチで、チャンネル 1-6 に流れる 100 Hz 以下の低周波ノイズをカットします。
- 12 MIC MIX : このスイッチを押すと、チャンネル 1-6 の信号はリモート操作できなくなります。これによって LEFT/RIGHT バスのチャンネル 7/8 に流れる出力信号の音量レベルのみをリモート操作できるようになります。スイッチが押されていない場合は、LEFT/RIGHT バスに送り込まれる全チャンネルの音量をリモート調節できます。
- 13 RIGHT MUTE : このスイッチを押すと、RIGHT バスではミュート機能が無効となります。これは、RIGHT および LEFT バスで、それぞれ異なるゾーン(ルーム)の信号を操りたい場合に便利です。
 - ▲ スイッチを押した場合、チャンネル 1 の入力信号が設定したスレシールド値 (THRESH 4) を下回ると、チャンネル 1-8 の信号は、チャンネル 1 の信号レベルに応じて、LEFT および RIGHT バスでそれぞれミュートされます。
 - ▲ スイッチを押さない場合、LEFT バスのみがミュートされ、各チャンネルにそれぞれルーティングが施されている限り、RIGHT バスには信号が送り込まれます。
- 14 EQ ON : このスイッチを押すと、LEFT および RIGHT バス用のイコライザー 15 が起動します。
- 15 LOW/LOW MID/HIGH MID/HIGH : このコントローラーで、以下に示す特定の周波数帯域のカット/ブーストをそれぞれ設定することができます。
 - ▲ LOW : 70 Hz 以下の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。
 - ▲ LOW MID : 300 Hz 前後の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。
 - ▲ HIGH MID : 3 kHz 前後の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。
 - ▲ HIGH : 10 kHz 以上の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。

バス

- 16 LED : これらの LED に出力信号のレベルが表示されます。CLIP LED が点灯する場合は、LEVEL コントローラー 17 を使って、信号がクリップしなくなるまで出力信号レベルを下げてください。
- 17 LEVEL : このコントローラーで、OUT L, OUT R および AUX のそれぞれのバス出力端子へルートしたい信号の出力レベルを設定することができます。

電源

[18] POWER :この POWER スイッチでミキサーに電源を投入します。本機を電源コンセントに接続する際には、必ず POWER スイッチを「オフ」にしておいてください。

☞ 装置の電源を完全に切る場合は、電源コードをコンセント（主電源）から抜いてください。装置を使用する際は、電源コードがすぐ手の届く場所にあることをご確認ください。装置をラックに組み込む際は、リアパネル側の電源コードもしくは電源スイッチによって、容易に装置の電源を切ることが出来るように十分に配慮してください。

☞ 注意:POWERスイッチを切っただけでは、電源が完全に切れたことにはなりません。長い間本装置を使用しない場合は電源コードをコンセント（主電源）から抜いてください。

シリアルナンバー: シリアルナンバーは装置の底面部に記載されています。シリアルナンバーは、オンライン上での製品登録時に必要となります。

2.2 リアパネル

BUS LINKS ターミナルブロックおよびチャンネル入力 7 と 8 は、それぞれアンバランス型となっています。その他すべての PCB 入出力端子は、すべてバランス型となっています。バランス型のターミナルをアンバランスで使用する際は、該当する接続端子のグラウンドターミナル (m) をネガティブターミナル (-) でブリッジしてください。

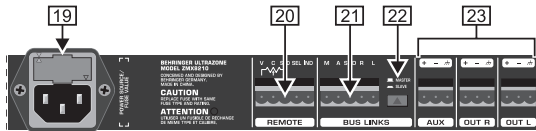


図 2.3: ZMX8210 の接続端子類

[19] ヒューズホルダー／標準型 IEC コネクタ:電源への接続には標準型 IEC コネクタ付きケーブルを使用します。これはすべての安全基準を満たしています。専用ケーブルは本体装置に付属しています。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用して下さい。

☞ ヒューズを交換する際は、感電しないために、まず装置の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

[20] REMOTE :このターミナルに ZMX8210 のリモート操作に必要な接続を行います。

▲ LEFT/RIGHT バスの音量をリモート調節するためには、ポットを一つ接続する必要があります(第 3.1.3 参照)。

▲ チャンネル 7/8 の CH SELECT スイッチ **[10]** をリモート操作する場合は、ボタン一つとコントロールダイオード二つを接続します(第 3.1.3 参照)。

[21] BUS LINKS :このターミナルブロックを介して 2 台の ZMX8210 を相互接続することができます。こうすることで、より多くの入力端子(および信号)を使用することが可能となります。3 つの出力バス LEFT/RIGHT/AUX は、ターミナルブロックを介して相互接続されます。マスターとして構成された ZMX8210 のミュート信号も同様にルーティングされます。これによって、マスター側のミュート機能は、スレーブ側のバスでも同様に有効となります。

[22] SLAVE/MASTER :このスイッチで、ZMX8210 をマスターまたはスレーブのどちらで構成するかを決定します。

ボタンを

- ▲ 押した場合、ZMX8210 はスレーブとして機能します。
- ▲ 押さない場合、ZMX8210 はマスターとして機能します。

☞ 他に外部機器を使用しない場合は、ZMX8210 を必ずマスターとして使用してください!

☞ 複数の ZMX8210 を使用する場合は、そのうちの一つをマスターとして構成してください。それ以外の装置はすべてスレーブとして構成してください。

[23] AUX/OUT R/OUT L :AUX, RIGHT および LEFT のバランス型出力端子

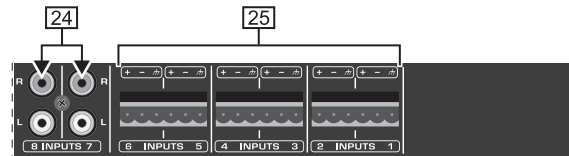


図 2.4: ZMX8210 の接続端子類

[24] INPUTS 7-8 :チャンネル 7-8 のアンバランス型入力端子。接続には RCA ピンジャックを使用します。

[25] INPUTS 1-6 :チャンネル 1-6 のバランス型入力端子。

3. 使用例

ZMX8210 は、いくつかの異なる室内空間(例えば喫茶店、診療所、教会など)での音響を行う際に非常に便利なユーザーフレンドリーなラックミキサーです。一台で、最大 3 つまでのゾーン(エリア)に異なる信号を送り込むことができます。より多くの信号を取り扱う必要がある場合は、2 台を接続して同時使用することができます。ZMX8210 は、ラインレベル信号、ダイナミックマイク、およびファンタム電源を使用するコンデンサーマイクを、それぞれ入力信号として取り扱うことができます。

3.1 使用例

従来のラックミキサーとは異なり、ZMX8210 には、特に素人が扱う固定セットアップおよび P.A. アプリケーションにおいていくつかの有利な点があります。PCB コンタクトターミナルとその容易な操作性によって、ZMX8210 はそういった際に必要とされるミキサーの条件をすでに十分満たしているといえるでしょう。

3.1.1 最大 3 つのゾーン(エリア)における P.A.

以下の使用例は、3 つのゾーン (P.A. エリア) をモノラルで使用する場合の典型的な接続例です。ゾーン 1 - 3 への信号分配は、各入力チャンネルのルーティングスイッチ (L, R, AUX) で行います。独立したモノラルゾーン(エリア)を 3 つ造る代わりに、1 つのステレオゾーン (LEFT/RIGHT バス) と 1 つのモノラルゾーン (AUX バス) を造ることもできます。

ja

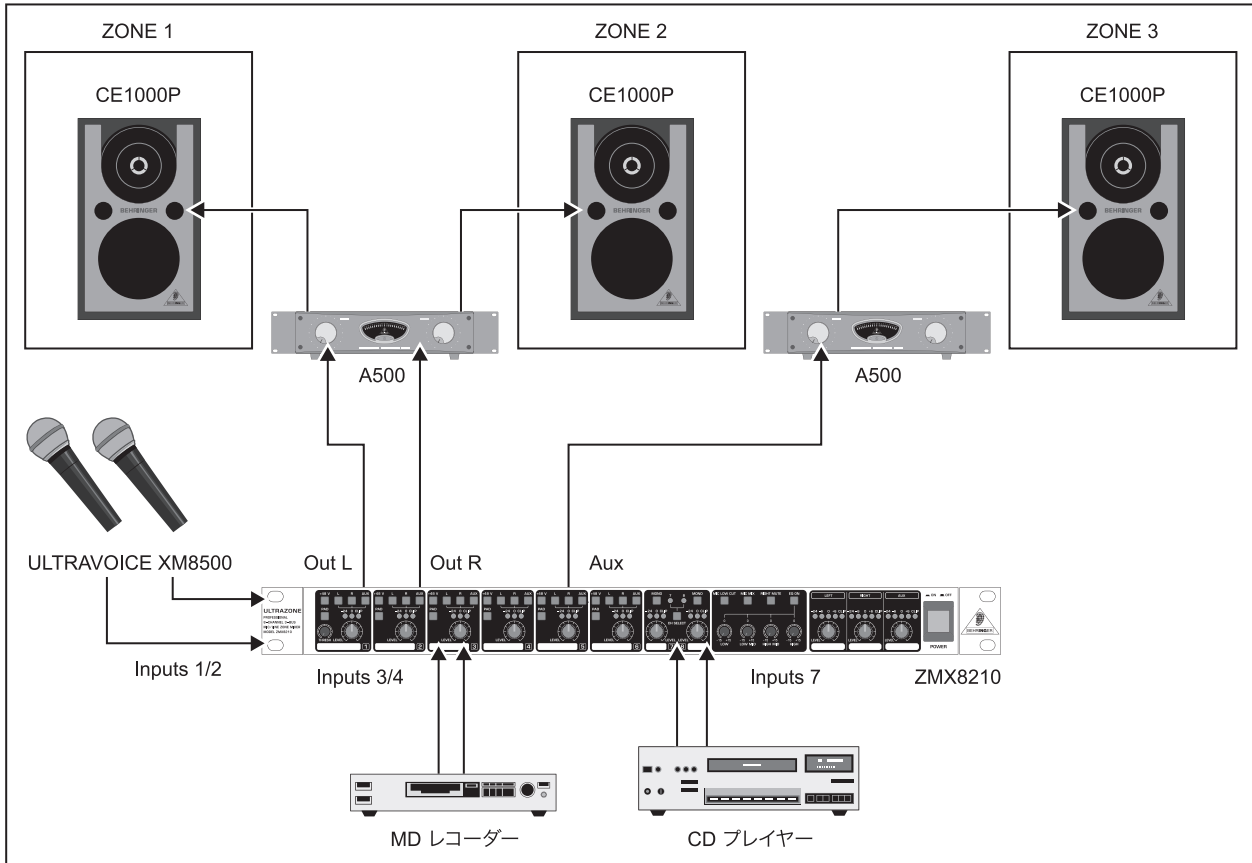


図 3.1: 3つのゾーン(エリア)におけるP.A.例

3.1.2 複数の ZMX8210 を接続して使用する場合

一台の ZMX8210 に備えられた 8 つの入力チャンネルでも足りない場合は、BUS LINKS 端子を介して 2 台接続することができます。これによって両装置の出力信号は「通り抜け」ができるようになります。つまり、両装置の入力信号は、出力バスへと送り込まれます。つまり、両装置の入力信号は、出力バスへと送り込まれるのです。こうすることで、より多くの入力端子を使用することができます。

出力信号は、両装置に送り込むことができます。両装置の接続は、以下のステップに従って行ってください。

- 1) SLAVE/MASTER スイッチ [22] を使って、一台目を MASTER として、二代目を SLAVE として構成します。
- 2) MASTER 機器側の BUS LINKS 端子と SLAVE 機器側の該当する端子を、4 芯シールドケーブルを使用して接続します。

3.1.3 ZMX8210 の遠隔操作

ZMX8210 には、LEFT/RIGHT バスの音量を遠隔操作するための、

- ▲ 5 芯 REMOTE 端子が備えられています。
- ▲ ステレオチャンネル 7 および 8 のチャンネル選択リモート操作は操作の簡単なユニット上ですぐ行うことができます。

LEFT/RIGHT バスの音量

LEFT/RIGHT バスの音量をリモート調節するためには、ポットが一つ必要となります。

- ▲ 最大 30 dB のレベルカットを行うには 10 k Ω のポットを使用してください。
- ▲ 最大 60 dB のレベルカットを行うには 100 k Ω のポットを使用してください。

ポットは、ピン V と SHD の間に接続してください。C ピンには、センタータップを接続してください。(図 3.2 参照)。

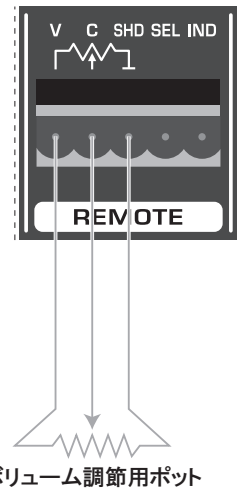


図 3.2: ポットを使用して音量のリモート調節を行う際の回路

または、最大直流電圧 11 V (DC) のポジティブ制御電圧を使って音量を操作することも可能です。電圧は、ピン SHD と C の間に流れるようにしてください。

- ⚠ 音量のリモート調節には、最大直流電圧 11 V (DC) のパワーサプライのみを使用してください。それ以外のものを使用すると、装置の損傷の原因となります。

ステレオチャンネル 7 および 8 の選択

ステレオチャンネル 7 および 8 の選択には、ボタンが一つとさらに 2 つの LED が必要となります。

ボタンは、SHD と SEL ピンの間に接続してください。チャンネルの起動状態をチェックしたい場合は、IND と SHD ピンの間に、反対の極性をもつ二つの LED を並列でつないでください(図 3.3 参照)。

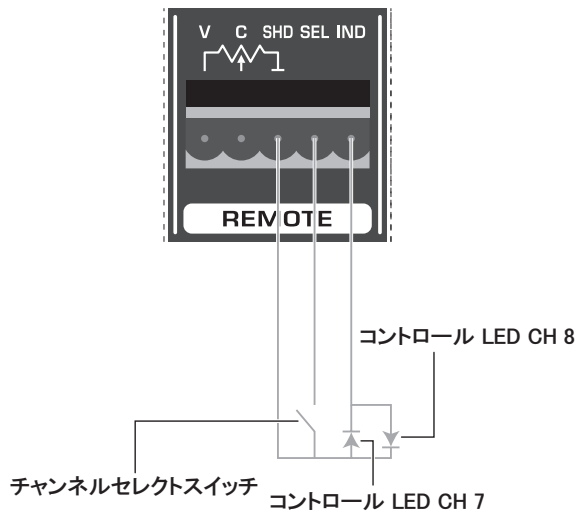


図 3.3: チャンネルセレクト用のボタンと 2 つの LED を使用した回路

3.2 基本的な操作方法

ZMX8210 は、通常のミキサーとほぼ同様の機能を備えているため、容易にその使用法を習得することができます。以下のステップに従ってください:

- 1) 第 3.1 章に示したように装置を接続してください。
- 2) LEFT-, RIGHT- および AUX LEVEL コントローラー [17] を中間の位置に設定し、全チャンネルの LEVEL コントローラー [5] を左に廻しきってください。
- 3) ZMX8210 およびその他の機器に電源を投入します(アンプおよびスピーカーは最後に電源を入れてください)。
- 4) オーディオ信号(ラインもしくはマイク)を入力チャンネルに流します。
- 5) コンデンサーマイクを使用する場合は、+48 V ボタン [2] を押してください。
- 6) L, R および AUX ボタン [3] を押して、入力信号を送り込みたいバスを選択してください。
- 7) 該当するチャンネルの LEVEL コントローラーを
 - ▲ お好みの音量になるまで廻すか、
 - ▲ もしくは、0 dB LED が常に点灯状態になるまで廻してください。
 CLIP LED が点灯する場合は、コントローラーを左に廻してレベルを下げてください。入力信号レベルが特に高い場合は、PAD ボタン [1] を押してさらにレベルを下げてください。
- 8) 他の音声信号に対しても、ステップ 4 から 7 までと同様の作業を繰り返してください。チャンネル 7 または 8 は、ステレオ信号用です。
- 9) マイクを使用したい場合は、MIC LOW CUT ボタン [11] を押して、低周波ノイズを除去してください。
- 10) サウンド特性を変えたい場合は、EQ ON ボタン [14] を押し、イコライザーセクションにある LOW, LOW MID, HIGH MID および HIGH コントローラーをそれぞれお好みの位置まで廻してください。 [15]
- 11) LEFT, RIGHT および AUX バスの LEVEL コントローラー [17] を使って、OUT L, OUT R および AUX 端子における出力レベルをそれぞれ設定してください。

4. 設置

4.1 ラックへの組み込み

装置を 19 インチのラックに組み込む際は、1 U の高さが必要となります。この他にも、リアパネル部における接続のために約 10 cm ほどの奥行きが必要となることにもご注意ください。ラックに装置を組み込む際は、M6 のネジとナットが必要となります。

4.2 オーディオ接続

ZMX8210 の接続端子類は、PCB ターミナルブロック(ユーロタイプ)となっています。接続には、特別な PCB プラグが必要となります。こ

のプラグは、品揃えの良い電化製品店で購入することができます。ZMX8210 の端子のピン配置は、装置背面部にある印刷をご覧ください。以下の図をご参照ください。

INPUTS / AUX / OUT R / OUT L

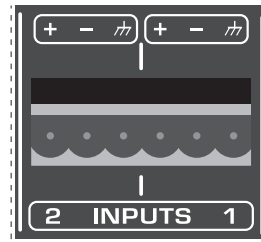


図 4.1: INPUTS ターミナルブロックのピン配列

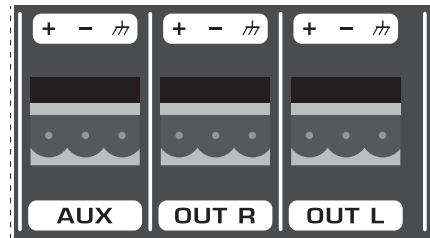


図 4.2: 出力バスターミナルブロックのピン配列

- +: 信号(ポジティブ/バランス型)
- : 信号(ネガティブ/バランス型)
- m: グラウンド

バランス接続の際は、3 つのピンすべてを使用してください。

アンバランス接続の際は、ピン m と + を使用し、接続ピン m と - はブリッジしてください。

BUS LINKS (バスリンクス)

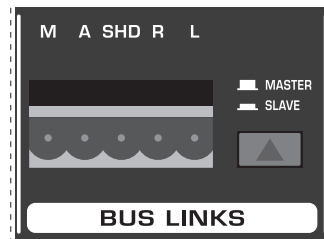


図 4.3: BUS LINKS ターミナルブロックのピン配列

- M: M(UTE) バス信号接続
- A: A(UX) バス信号接続
- SHD: SH(IESH(IEL)D) 信号接続(グラウンドシールド)
- R: R(IGHT) バスの信号接続(アンバランス)
- L: L(EFT) バスの信号接続(アンバランス)

REMOTE (リモート)

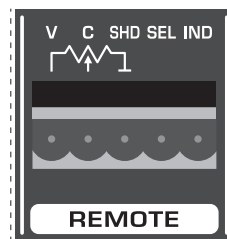


図 4.4: REMOTE ターミナルブロックのピン配列

- V: ポットの V(OLUME) 接続 (ポテンシャル)
- C: ポットの C(ONTROL) 接続 (センタータップ)
- SHD: SH(IESH(IEL)D) 接続 (グラウンドシールド)
- SEL: ボタンの SEL(ECT) 接続
- IND: LED の IND(ICATOR) 接続

5. テクニカルデータ

INPUTS (入力) 1 - 6	
タイプ	PCB ターミナルブロック、電子バランス型
インピーダンス	3 k Ω バランス型、1.5 k Ω アンバランス型 (PAD アクティブ)
最大入力レベル	+ 12 dBu (PAD アクティブ)
最大増幅	40 dB
チャンネルクロストーク	> 63 dB @ 1 kHz
同相信号除去比 (CMRR)	> 75 dB @ 1 kHz、22 Hz - 22 kHz
入力ノイズ (EIN)	- 116 dBu A-weighted; 150 Ω 負荷
INPUTS (入力) 7 - 8	
タイプ	アンバランス型 RCA ピンジャック
インピーダンス	10 k Ω アンバランス型
最大入力レベル	+ 15 dBu
最大増幅	15 dB
OUT L、OUT R、AUX	
タイプ	PCB ターミナルブロック、バランス型
最大増幅	22 dB
最大増幅(入力/出力)	62 dB (PAD イナクティブ)
インピーダンス	60 Ω アンバランス型、120 Ω バランス型
最大出力レベル	+ 21 dBu アンバランス型/バランス型
チャンネルクロストーク(出力/出力)	> 63 dB @ 1 kHz
内部ノイズ(全レベル 0 状態)	-105 dBu A-weighted
S/N 比	87 dB @ 0 dB A-weighted
BUS LINKS (バスリンクス)	
タイプ	PCB ターミナルブロック、アンバランス型
インピーダンス	約 150 Ω
最大出力レベル	+ 21 dBu
REMOTE (リモート)	
タイプ	PCB ターミナルブロック
リウムコントロール	10 k Ω のポット(別売り)を使用した 30 dB カット 100 k Ω のポット(別売り)を使用した 60 dB カット
チャンネルセレクト 7/8	ボタン (1 芯)が必要(別売り)
EQ	
MIC LOW CUT (マイクロカット)	ハイパスフィルター; カットオフ周波数: 100 Hz
LOW (ロー)	\pm 15 dB @ 70 Hz
LOW MID (ローミッド)	\pm 15 dB @ 300 Hz
HIGH MID (ハイミッド)	\pm 15 dB @ 3 kHz
HIGH (ハイ)	\pm 15 dB @ 10 kHz
システムデータ	
周波数レスポンス	20 Hz ~ 22 kHz \pm 0.5 dB
歪み率 (THD+N)	< 0.05 %
電源電圧	
消費電力	最大約 25 W
ヒューズ	T 630 mA H 250 V (100 - 120 V \sim , 50/60 Hz) T 315 mA H 250 V (220 - 230 V \sim , 50/60 Hz)
外形寸法/重量	
外形寸法	約 44.5 mm x 482.6 mm x 217 mm
重量	約 2.2 kg

BEHRINGER 社は、最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は、事前の予告なしに行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

テクニカルデータおよび外観は予告なしに変更する場合があります。ここに記載された情報は、印刷時のものです。BEHRINGER 社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起した行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。BEHRINGER 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター(配給元)およびディーラー(販売業者)は、BEHRINGER の特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER を拘束する権限を一切有しません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報は、BEHRINGER International GmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用でもこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

複製権所有 / ALL RIGHTS RESERVED © 2008 BEHRINGER International GmbH
BEHRINGER International GmbH
Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38, 47877 Willich-Münchheide II, ドイツ
Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903